

# 赤間正明・代表質問行う!

## 万全な防災対策で 安全・安心な生活を推進!

防災対策(水道・ドクターヘリ等)、私学助成、児童虐待防止、アレルギー問題、終末処理場の有効利用等について質問しました。今後も諸問題解決に向けて全力で取り組んでまいります。



(代表質問を行う、赤間正明)

### 「赤間正明・代表質問」 知事の政治姿勢を問う：「私学助成の拡充」を!

**赤間：**県外の私立高校等に通っていて、県の授業料減免を受けられない生徒はどれくらいおり、その生徒に授業料減免が行われていないことについての県の見解はどうか。今後、不平等を是正し、授業料減免の対象としていくべきと考えるがどうか。

**知事：**県外の私立高校等に通学している生徒数は、概ね1万人程度と見込んでいます。私学助成の考え方の違いから各都道府県によって制度に相違が生じているところですが、県としては、保護者負担の軽減は、全国一律で実施されることが望ましいと考えていることから、国に対し、就学支援金制度の更なる充実を要望しているところです。引き続き、国や近隣都県の動向等も注視しながら研究してまいります。

**赤間：**仮に、現在授業料減免を受けられていない者に対し、県内の私立高校に通っている者と同様の支援を行った場合、必要となる予算はどれくらいと見込まれるのか。

**知事：**追加で必要となる経費は、およそ3億円程度と試算されます。

**赤間：**例えば「県外の高校に通う生徒には、授業料の一部の免除などからでも始める」など、私学に通う「県内在住者」の間の不平等を、少しでも是正していただくよう、取り組んでいただきたい。強く要望します。



赤間正明の代表質問が千葉日報で大きく取り上げられました。

### ◎赤間まさあき・プロフィール

1961年10月、宮城県仙台市生まれ、創価大学卒業、千葉県議会議員7期目、県土整備常任委員会委員



右上の写真：現在建設中の江戸川第一終末処理場 (千葉縣市川市)

右下の写真：消化ガスを再生可能エネルギーとして利用する消化ガス発電プラント (京都府の取り組み)

### ●終末処理場を有効利用し消化ガス発電を!

**赤間：**再生可能エネルギーを最大限に導入するため、千葉県としても下水処理場における「ペロブスカイト太陽電池の導入」について推進を図るべきと思うがどうか。

**副知事：**流域下水道では、汚水処理に大量の電力を使用しているため、太陽光発電の導入は、コスト削減や脱炭素化の面でも大きな効果があると認識しており、令和6年度から終末処理場での太陽電池の設置を開始する予定です。フィルム型のペロブスカイト太陽電池は、薄く軽量で曲げることができることから設置対象の場所の範囲が広がるなど利点があるとされておりますが、現在のところ研究段階であり、実用化には至っておりません。当面は、現在主流の太陽電池パネルの設置を進める予定ですが、今後、新技術の開発動向を注視し、導入の可能性について検討してまいります。

**赤間：**千葉県として江戸川第一終末処理場・通称「行徳富士」の敷地を有効利用し、汚泥から電気を生み出す「消化ガス発電施設」を建設すべきと考えるがどうか。

**副知事：**県内の流域下水道で発生する汚泥は、現在、焼却等により処理していますが、汚泥を利用した消化ガス発電は、コスト削減や脱炭素化の推進に有効であると考えています。江戸川第一終末処理場では、通称「行徳富士」といわれる残土がある南側において、汚泥処理施設を計画していることから、今後、消化ガス発電の導入についても検討してまいります。

### ●児童虐待の早期発見と面前DVの防止対策を!

**赤間：**児童相談所と県警との「児童相談所業務支援システム」の実績とその効果はどうか。

**警察本部長：**「児童相談所業務支援システム」は、令和4年3月から運用を開始しており、令和5年度は本年1月末現在で2,389件とすでに令和4年度の件数を上回っております。本システムの構築により、常時、警察署等に設置された専用端末から児童相談所の対応状況について情報共有が可能となり、警察における迅速・的確な対応方針の決定に役立つなどの効果を認めています。今後も、本システムを通じて、児童相談所と警察が緊密な連携を図り、児童虐待の早期発見と被害児童の早期保護に努めてまいります。

**赤間：**こどもの将来を見据え、「夫婦間の暴力を目の当たりにする面前DV」から子どもたちを守るために、県として児童虐待防止対策にどのように取り組むのか。

**副知事：**こどもの前で配偶者に対する暴力を行う面前DVは、こどもに著しい心理的外傷を与え、健全な成長に大きな影響を及ぼす児童虐待であり、県では、DVと児童虐待は密接な関係があり、双方を防ぐ必要があることを伝えるパンフレットや広告動画を作成し、周知啓発を行っているほか、面前DV等を事例とした実践的な研修を担当部門が合同で実施しています。



公明党千葉県議会議員 赤間正明

◎ホームページ・<http://www.komei.or.jp/km/akama/>

◎メール・[masaakia36@gmail.com](mailto:masaakia36@gmail.com)

# 防災対策（水道・浄化槽・避難所・ドクターヘリ・ネットワーク等）

## 地震に強い水道・地上に仮設配管網の布設を

**赤間：**東日本大震災で実施された様に、大規模な地震等により、水道ライフラインの復旧に時間がかかる場合、「地上に仮設配管網」を布設する事により、県民に水を提供できる体制を構築すべきと思うがどうか。

**知事：**県営水道では、大規模地震等の発生時、迅速かつ的確な対応を図るため震災対策基本計画等を定めており、水道管の応急復旧については、漏水箇所ごとの修繕を原則としつつ、被害が集中している管路では、道路管理者等と協議の上、地上に仮配管を布設することとしております。そのため、水道管工事等の関係団体と災害復旧に係る協定を締結し、発災後、速やかに局職員が工事業者と現地の状況を確認し、水道管の被災状況等に応じて、地上に仮配管や仮設給水栓を整備する体制を整えているところです。

地上に布設した仮の水道管



**赤間：**県教育委員会は、避難所となる公立学校施設の防災機能の強化、特にエアコンの設置について、防災担当部局と連携してどのように対応しているのか。

**教育長：**県教育委員会では、国庫補助や充当率が高い起債の活用を周知するなど、公立小中学校の体育館へのエアコン設置を促しています。また、市町村の避難環境の強靱化などの取組を支援するため、県の防災危機管理部では、今年度から千葉県地域防災力充実・強化補助金を拡充しています。本補助金は避難所となる公立学校施設へのエアコン設置にも活用できるため、県教育委員会としては、防災危機管理部と連携しながら市町村への周知に努めてまいります。

**赤間：**「千葉県浄化槽協会」や「千葉県環境保全センター」などの関係機関と連携し、合併処理浄化槽の避難所への設置を推進すべきと思うがどうか。

**副知事：**下水道処理区域内の避難所に合併処理浄化槽を設置することについては、国のガイドラインにおいて、下水道施設が被災した場合に備えたトイレ対策として示されており、有効な手段の1つと考えています。このため県では、簡易トイレやマンホールトイレ等の整備に加え、合併処理浄化槽の設置についても、地域防災力充実・強化補助金の対象とするなど、市町村の避難所のトイレ環境の整備を促しているところです。今後、浄化槽関係団体と連携し、設置を検討する市町村に対して必要な情報を提供するなど支援してまいります。

## ドクターヘリ・広域ネットワークの整備

**赤間：**県内で大規模災害が生じた場合、千葉県と他県のドクターヘリの協働により、どのような展開が可能であるのか。

**知事：**県では、日本医科大学千葉北総病院と君津中央病院において、合計2機のドクターヘリを運用していますが、駐機スペースについては、最大10機分が確保されています。また、本年、発生した能登半島地震では、石川県の要請を受け、日本医科大学千葉北総病院のDMATチームが派遣され、同様に派遣された多数の自治体のドクターヘリの運用等をサポートするため、発災初期から航空搬送調整の任にあたったところです。県としては、こうした設備インフラや支援ノウハウを蓄積・強化していくことにより、将来、県内で大規模災害が生じた場合に、他県のドクターヘリと円滑に協働し、県民の生命を守る迅速な活動を展開できるよう、努めてまいります。

**赤間：**災害時の防災力強化のため、広域的な幹線道路ネットワークや県境橋梁の整備が必要と考えるがどうか。

**副知事：**広域的な幹線道路ネットワークや県境橋梁の整備は、災害時には緊急物資の輸送や復旧活動を支える上で大変重要です。このうち、北千葉道路や新湾岸道路は、首都圏の道路ネットワークを強靱にする新たなルートとして、救命活動の支援や救援物資の輸送機能を強化する効果も期待される道路です。また、（仮称）押切・湊橋など県境を跨ぐ橋梁については、限られた橋梁に集中する交通を分散させ、避難者や帰宅困難者などの移動を円滑にする効果が期待されます。県としては、防災対策の観点においても、引き続き、広域的な幹線道路ネットワークや県境橋梁の整備に取り組んでまいります。



万全な体制で出動を待つドクターヘリ